

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	TV Broadcasting Engineering		
英文授業科目名	TV Broadcasting Engineering		
開講年度	2009年度	開講年次	3、4年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	外山 昇		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
toyama@fedu.uec.ac.jp	http://www.fedu.uec.ac.jp/~toyama/

【主題および達成目標】

この科目は英語で授業を行う科目です。、英語に興味をもっていることが必須です。どの程度英語力が必要かは、最初の授業に出席して確かめてください。テレビジョン放送用語を英語で理解し、テレビジョン放送実施に必要な基礎技術を英語で学ぶと同時に最新の放送技術の一端にも触れます。

【前もって履修しておくべき科目】

放送に感心を持っていることが必要です。英会話ができることが望ましい。本授業はクラスにおける討論を重視しますので、英語で自分の考えを表現する練習をしておくとう授業が大変楽しくなります

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

英語の勉強を十分に行っておいてください。特に特別な専門知識は必要としません。日頃からTV放送が放送局から自分のところにあるTV受像機に到着するまでに使われている技術について考え、それを、television, screen, flicker, ghost signal, horizontal scanningのような優しい英語で言えるように練習しておくとうクラスが楽しくなります。

【教科書等】

放送技術に関する資料のコピーを配布する。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

ディスカッションを中心にして授業を進める。放送技術に関する基本用語を英語で理解しながら、ベースとなっている技術を学ぶ。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

世の中はコンピュータとテレビ放送が混在しています。自分の見ている画像をテレビと言えるか、コンピュータと言うべきか考える習慣を身につけましょう。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートと期末試験で評価する。合格点に達するためには、放送技術の用語を英語で理解することが必要である。本授業は短期留学プログラムの留学生と一緒に学びますので、出席点を重視します。事前の連絡なく3回欠席すると、単位を取得することは出来ません。成績評価比率：レポート20%、出席点20%、期末試験60%。

【オフィスアワー：授業相談】

授業中に予約するか、電子メールで連絡してもらえば、出来るだけ相談に応じるようにします。

【学生へのメッセージ】

英語で専門科目を履修することは、将来国際舞台で活躍するための第一歩と思いチャレンジして下さい。とにかく、初回の授業に遅れずに出席してください。英語でなくても、途中から人の話を聞いて分かる人はいません。

【その他】

出席点を重視します。事前の届け出なしに、3回欠席すると、単位を取得することができなくなります